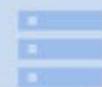


infoNet®

株式会社インフォネット

STOCKCODE:4444

2023年3月期 第1四半期決算説明資料



ONE STOP SERVICE
InfoNet Inc. All Rights Reserved.

1. 当社の事業と私たちの社会的使命 p.3
2. TOPICS p.11
3. 2023年3月期 第1四半期決算概況 p.15
4. SUMMARY p.35

1. 当社の事業と 私たちの社会的使命

ONE STOP SERVICE

調査・分析からデザイン・システム開発、運用サポートまで一貫して行う
ワンストップサービスで
安定性の高いサービスの提供



SaaS型CMS市場

6年連続シェア No.1※1

※1 出典：ITR 「ITR Market View：ECサイト構築／CMS／SMS送信サービス／CLM／電子契約サービス市場2021」 SaaS型CMS市場：ベンダー別売上金額推移およびシェア（2016～2021年度予測）

主に中堅企業～大手企業・公共団体から支持され、コーポレートサイトを中心に制作実績1,300サイト以上。※2

（infoCMS導入実績500サイト以上。※2）

※2 当社調べ

01



RESEARCHING & ANALYZING

調査・分析

02



PLANNING & PRODUCING

企画・プロデュース

03



WEB DESIGN
SYSTEM DEVELOPMENT

WEBデザイン構築
システム開発

05



MEASURING & IMPROVING

効果測定・改善施策

04



OPERATION SUPPORT

運用サポート

プラスαの
成果創出へ

私たちの社会的使命

コーポレートサイトをプラットフォームとした

業務改善DX・WEBマーケティングを総合的に支援し、

顧客事業価値を創造し最大化することが、私たちの社会的使命です。

1. グループ概要

商号	株式会社インフォネット（英語表記：infoNet inc.） <証券コード：4444>		
所在地	本社 東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエア ウェストタワー2F 福井支社 福井県坂井市丸岡町ソフトパークふくい 7-1-21 佐賀支社 佐賀県佐賀市中の小路 1-14 佐賀新聞中央ビル4F 大阪支社 大阪府大阪市中央区南本町2-4-16本町デビスビル7F		
設立年月日	2002年10月15日	資本金	27,492万円
代表取締役 社長執行役員	日下部 拓也	従業員数	単体99名 連結143名（2022年6月末現在）
事業内容	WEBサイト構築 CMSサイト構築 システム開発 ホスティングサービス ASPサービス 広告デザイン・印刷 映像制作		

商号 株式会社アイアクト <非上場>

設立年月日 1999年6月18日 資本金 1,900万円

代表取締役社長 笠井 隆義

事業内容

- ・サイト制作・運用、CMS構築・運用
- ・コンテンツマーケティング&プロモーション
- ・WEB戦略立案&コンサルティング
- ・データ&アナリティクス
- ・WatsonやAIを活用したプロダクト開発
- ・AI導入支援
- ・AIチャットボットサービス、検索サービス

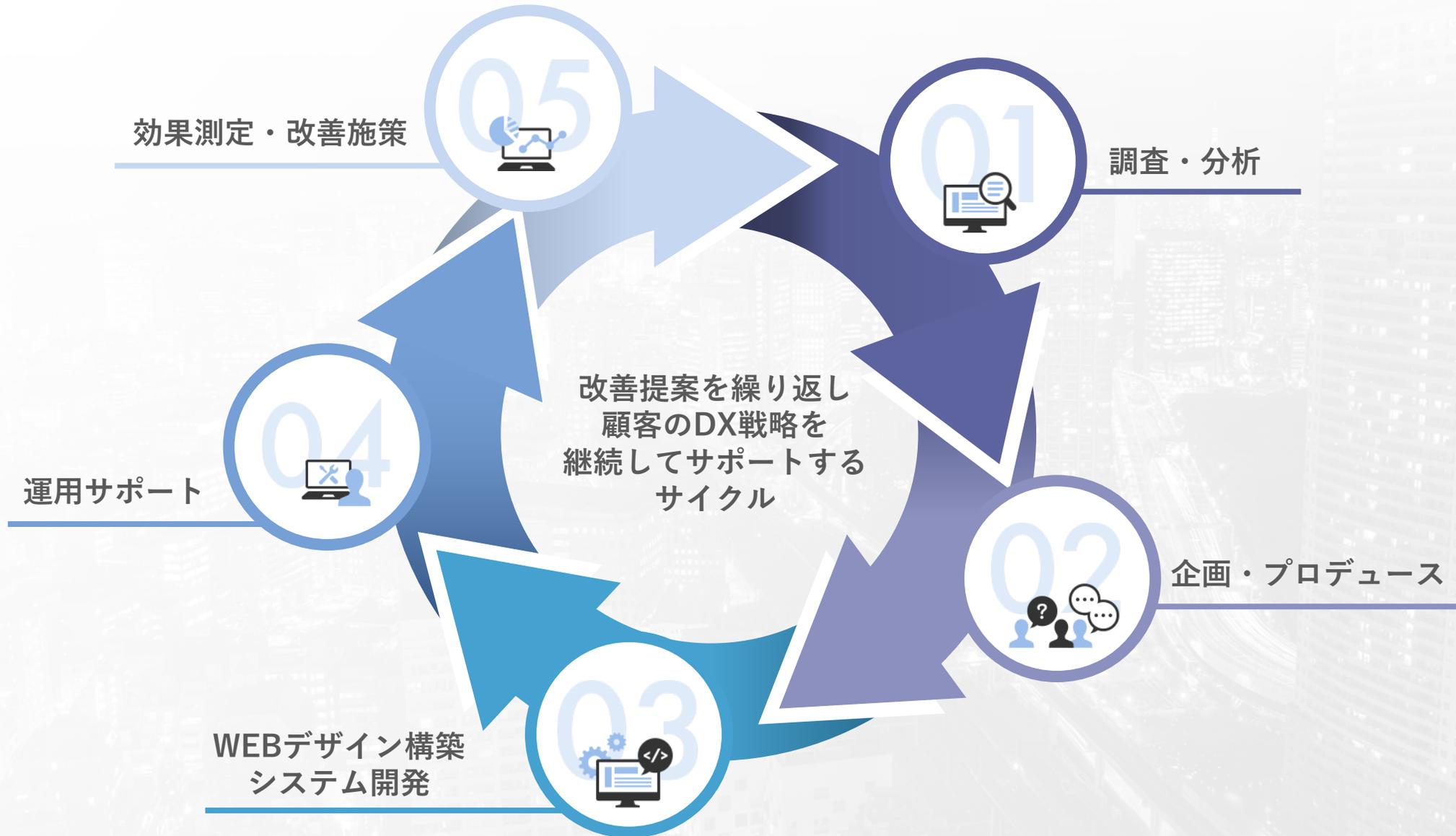
商号 株式会社デロフト <非上場>

設立年月日 2022年4月1日 資本金 1,000万円

代表取締役 岸本 誠

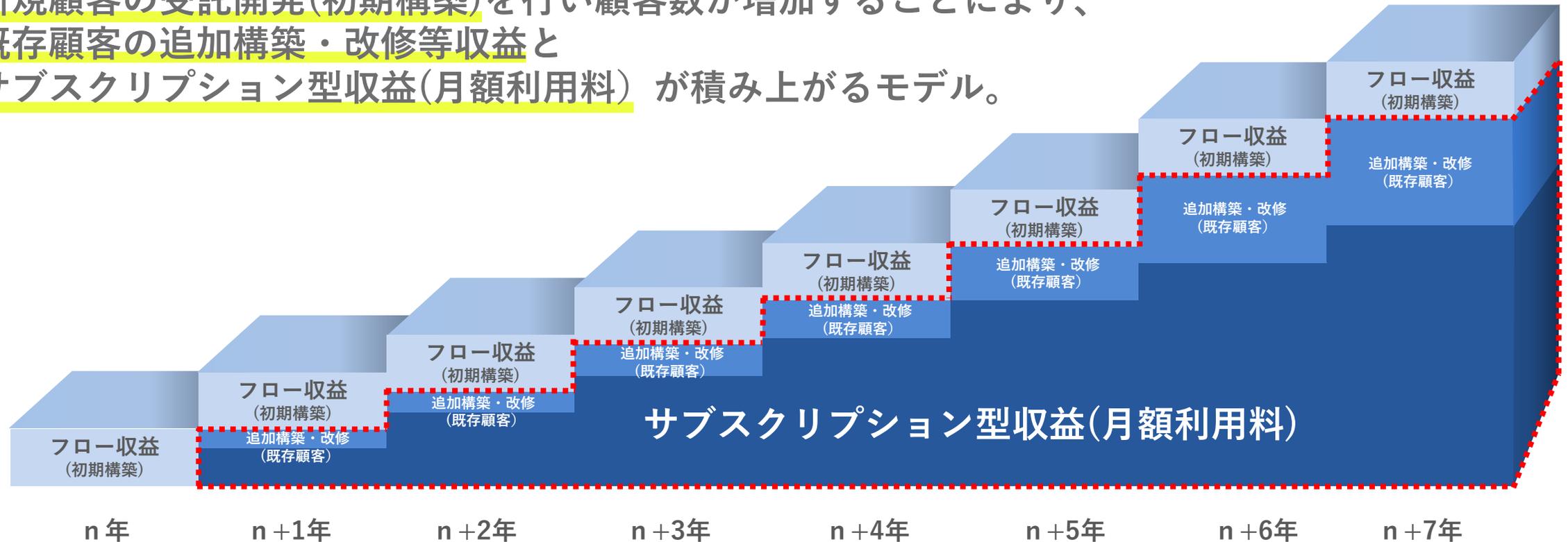
事業内容

- ・アイデアの商品化に関する企業への情報提供サービス
- ・ウェブサイト、ウェブコンテンツおよびアプリに関する企画、デザイン、開発、制作、管理および運営
- ・各種システム、ソフトウェアの企画、開発および販売等



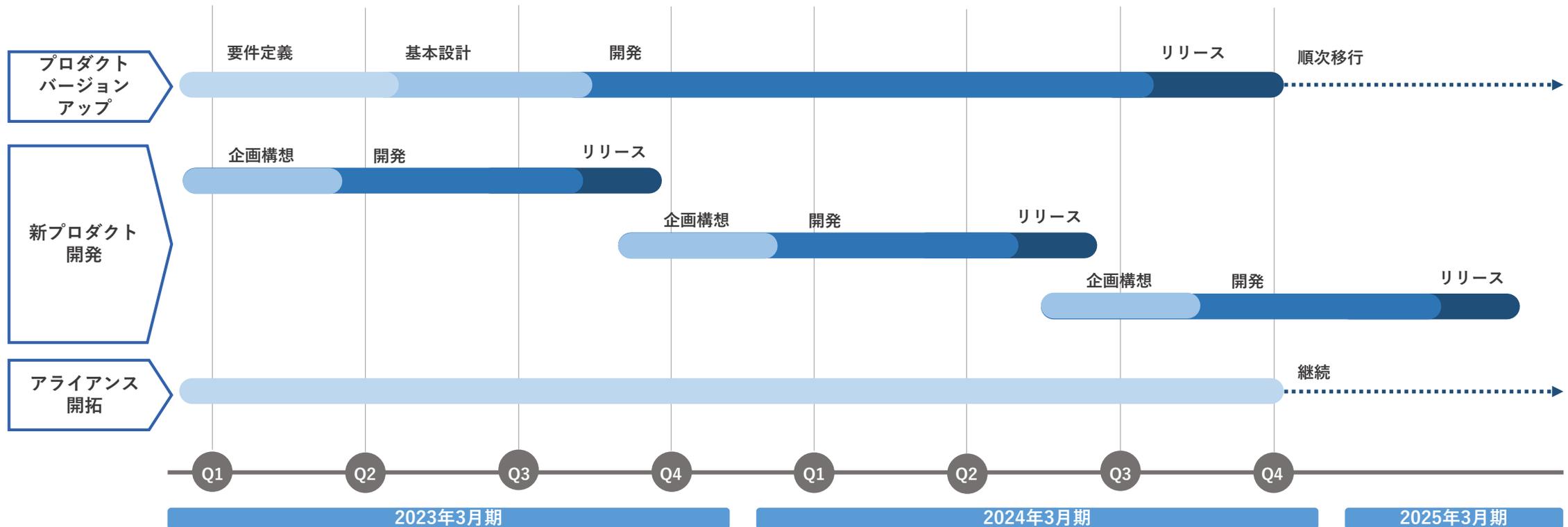
当社の収益構造

新規顧客の受託開発(初期構築)を行い顧客数が増加することにより、
既存顧客の追加構築・改修等収益と
サブスクリプション型収益(月額利用料) が積み上がるモデル。



1. マイルストーン

プロダクト成長イメージを実現するため、CMSのメジャーバージョンアップとモジュール拡充に向けたプロダクト開発およびアライアンス開拓を推進中。



※現時点での見込みを示したものであり開発状況等により変動する場合があります。

2. TOPICS

トピックス

1

インフォネット

中堅・中小企業DX推進支援に向けて ライトアップ社「JSaaS」の提供を開始

新型コロナウイルス感染症拡大の長期化に伴い、日本全国の企業経営が深刻な状況に直面している中で、国、地方自治体などが様々な公的支援策を講じていますが、活用できる制度がわからなかったり手続きが難しいという理由で支援制度を十分に活用できていない状況があります。

自社に最適な制度情報を自動診断し、申請の支援も可能になるJSaaSを提供することで中堅・中小企業のDXを支援してまいります。

- ✓ JSaaSを通じて公的支援制度(補助金・助成金)をはじめとした様々な経営支援情報を提供。
- ✓ 情報提供だけでなく、オンラインによる制度の選定や申請のコンサルティングまで提供することで顧客満足度向上を目指す。

2

インフォネット

ビジネスサーチテクノロジー株式会社と業務提携 サイト内検索サービス 「GENIEE SEARCH」提供開始

デジタル化が加速しWEBサイトの役割も変化してきている中、様々なステークホルダーに必要な情報を適切に届けることや、WEBサイト上での顧客体験向上のニーズが高まっています。コンテンツの混在や複数の関連サイトなど、WEBサイト内に蓄積した膨大な情報量によりWEBサイト導線の複雑化は避けられない課題となっています。

- ✓ 本業務提携により、シームレスなWEBサイト構築を実現
- ✓ ユーザビリティの向上、自社サイトを活用したコンテンツマーケティング活動の支援をより一層強化

3

アイアクト

AIチャットボット「Cogmo Attend」 機械翻訳を連携し、複数言語の自動応答も可能 とする多言語チャットボットを追加開発

当社グループ「アイアクト」が提供するAIチャットボット「Cogmo Attend」と、精度の向上が著しい機械翻訳を連携し、日本語でのFAQ登録を行うだけで複数言語の自動応答も可能とする多言語チャットボットを追加開発し、サービス提供を開始しました。

✓日本語の会話構築だけで他言語の会話が可能になり、言語変換の効率化を実現

3. 2023年3月期 第1四半期決算概況

1

インフォネット

受注/開発体制の見直しが昨年度中に完了したことから利益額および利益率が大幅改善

2

インフォネット

受注状況についても第1四半期は堅調に推移

3

アイアクト

AIプロダクト「Cogmoシリーズ」が堅調に成長

売上総利益

前期比(Q/Q)

(連結) +50,173千円

(infoNet単体) +52,125千円

売上総利益率

前期比(Q/Q)

(連結) +12.20pt

(infoNet単体) +20.49pt

営業利益

前期比(Q/Q)

(連結) +98,119千円

(infoNet単体) +77,677千円

営業利益率

前期比(Q/Q)

(連結) +28.46pt

(infoNet単体) +40.08pt

総売上高

前期比(Q/Q)

(連結) **+19,802千円**

前期比 **+5.7%**

(infoNet単体) **+29,518千円**

前期比 **+15.6%**

(月額収益)

ストック収益

前期比(Q/Q)

(連結) **+28,086千円**

前期比 **+15.9%**

(infoNet単体) **+8,316千円**

前期比 **+7.7%**

WEB/CMS 関連事業

売上高前期比(Q/Q)

(連結) +8,323千円

前期比 +2.7%

(infoNet単体) +28,604千円

前期比 +15.2%

AI 関連事業

売上高前期比(Q/Q)

(連結) +11,480千円

前期比 +34.3%

(infoNet単体) +913千円

前期比 +84.6%

売上高実績 グループ内訳 (Q/Q)

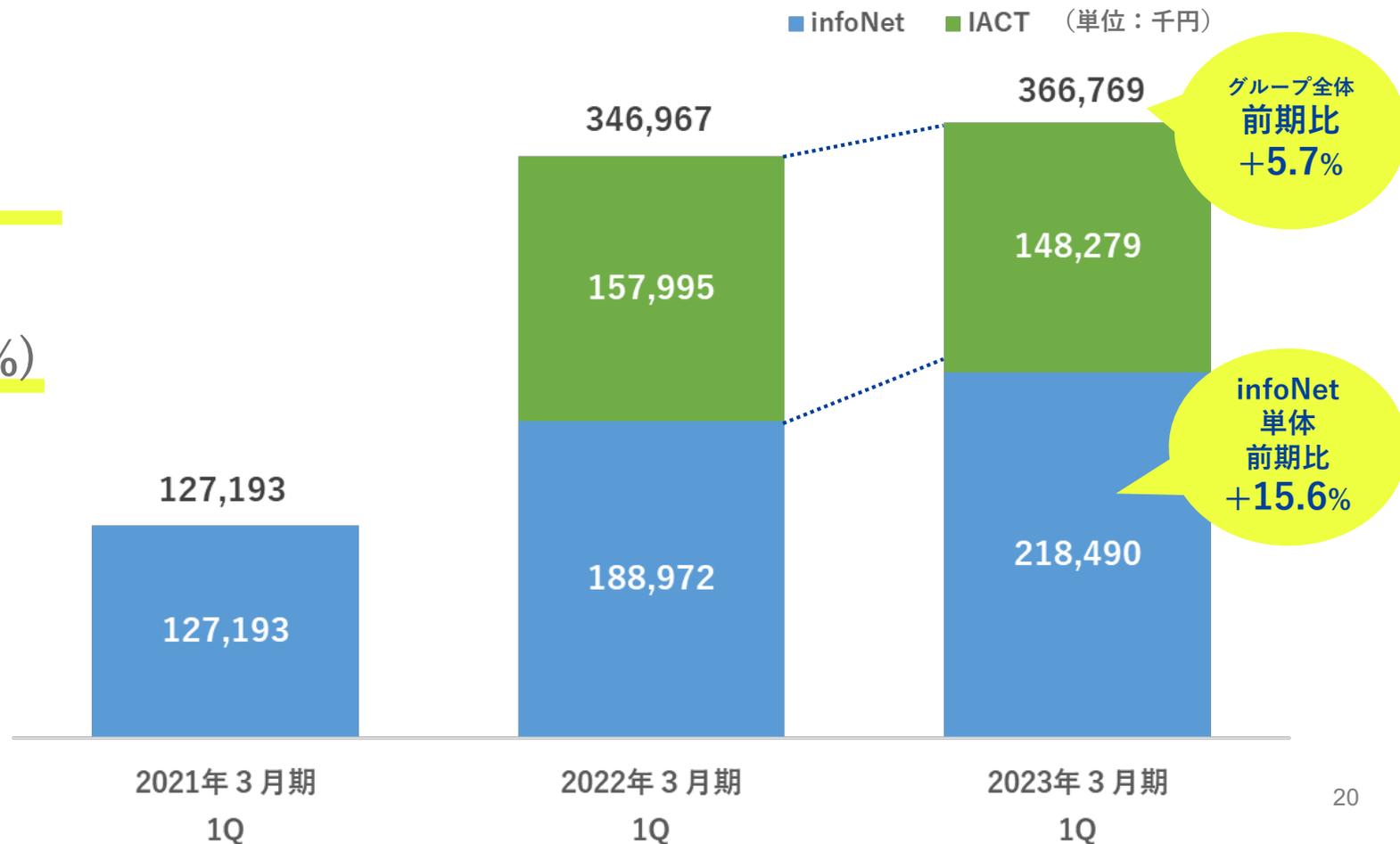
グループ全体

+19,802千円の増加(前期比+5.7%)

infoNet単体

+29,518千円の増加(前期比+15.6%)

※デロフトは2022年4月1日設立につき、1Qは立ち上げと受注活動に専念するため当初より1Qの売上計上は計画しておりません。
 ※2021年3月期までは納品検収基準の会計方針を採用していましたが、2022年3月期より進行基準に変更しております。
 ※2021年3月期以前のアイアクトの実績は連結対象期間外であるため開示は差し控えていただきます。
 ※2021年3月期のinfoNet実績にはスプレッドシステムズの実績を含みます。(2022年3月期より吸収合併)



売上高実績 ストック/フロー内訳 (Q/Q)

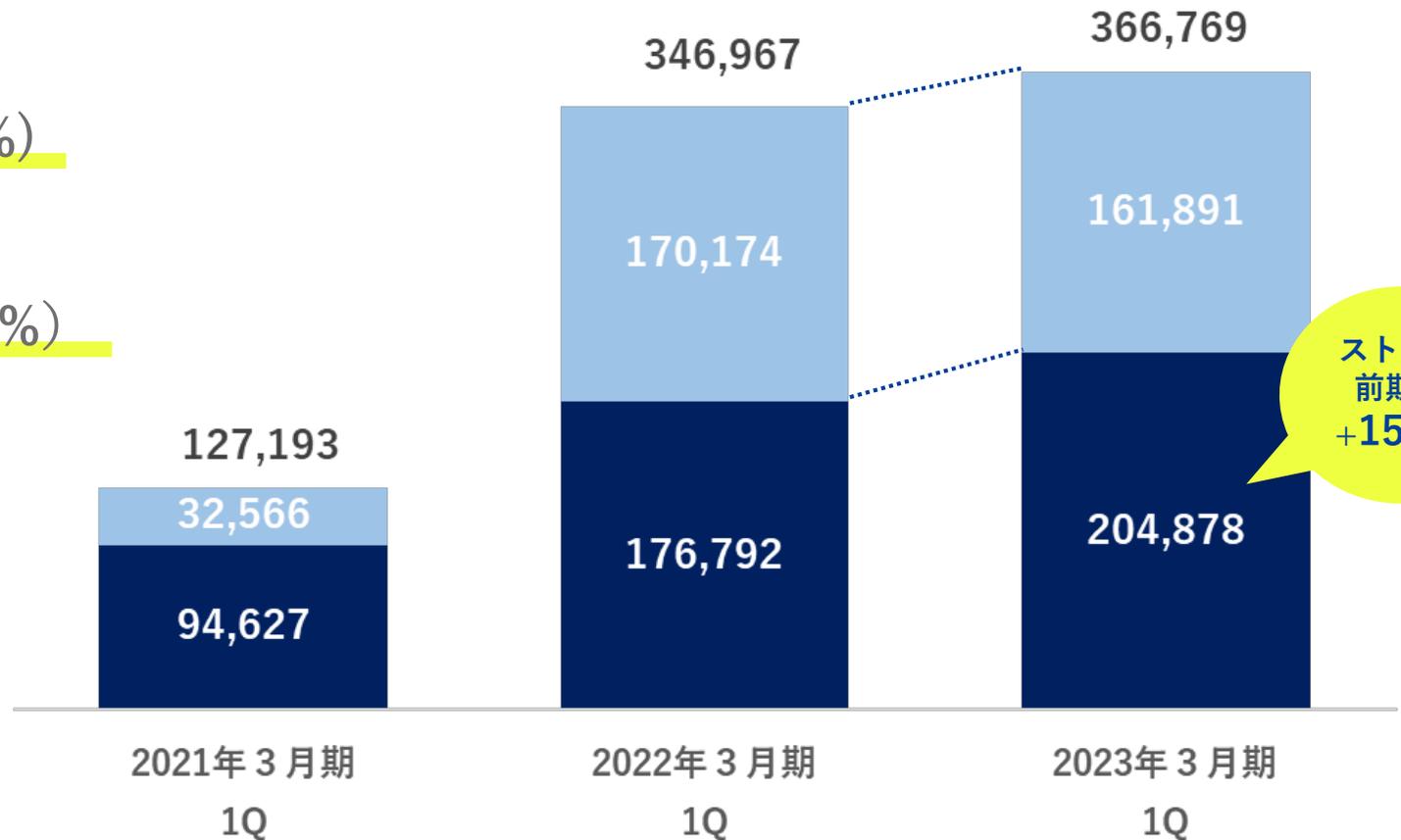
■ ストック (月額収益) ■ フロー (受託開発) (単位: 千円)

フロー (受託開発収益)

▲8,283千円の減少 (前期比▲4.9%)

ストック (月額収益)

+28,086千円の増加 (前期比+15.9%)



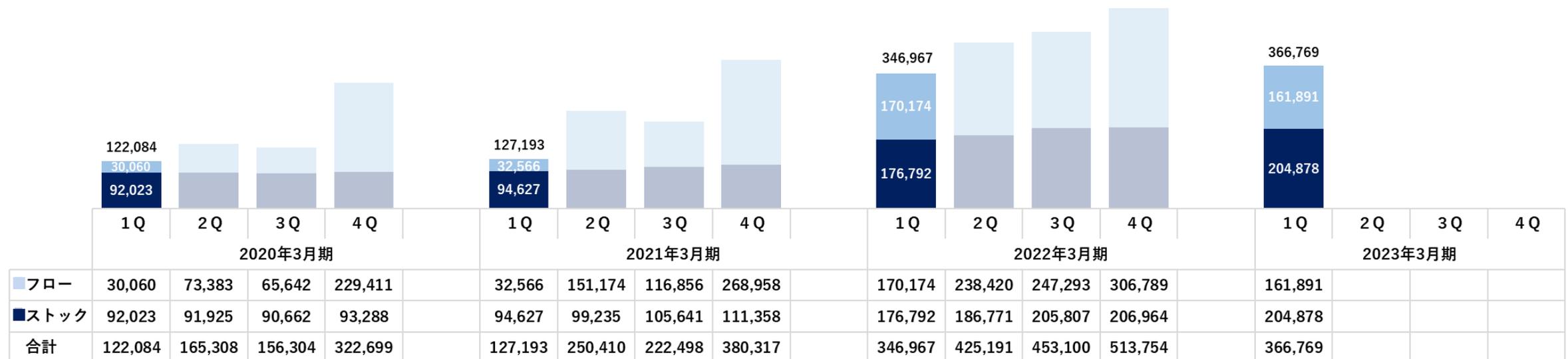
※2021年3月期までは納品検収基準の会計方針を採用していましたが、2022年3月期より進行基準に変更しております。
※2021年3月期以前のアイアクトの実績は連結対象期間外であるため開示は差し控させていただきます。
※2021年3月期のinfoNet実績にはスプレッドシステムズの実績を含みます。(2022年3月期より吸収合併)

ストック
前期比
+15.9%

売上高推移 ストック/フロー内訳

今期においても下期偏重傾向は継続する見通し
 第1四半期においては利益率を担保しつつ売上高は増加 (QonQ)

■ストック ■フロー (単位：千円)



※2021年3月期までは納品検収基準の会計方針を採用していましたが、2022年3月期より進行基準に変更しております。

※2022年3月期以降は子会社の業績を含む連結業績です。

※2021年3月期のinfoNet実績にはスプレッドシステムズの実績を含みます。(2022年3月期より吸収合併)

WEB/CMS

フロー収益実績 (Q/Q)

(受託開発)

グループ全体

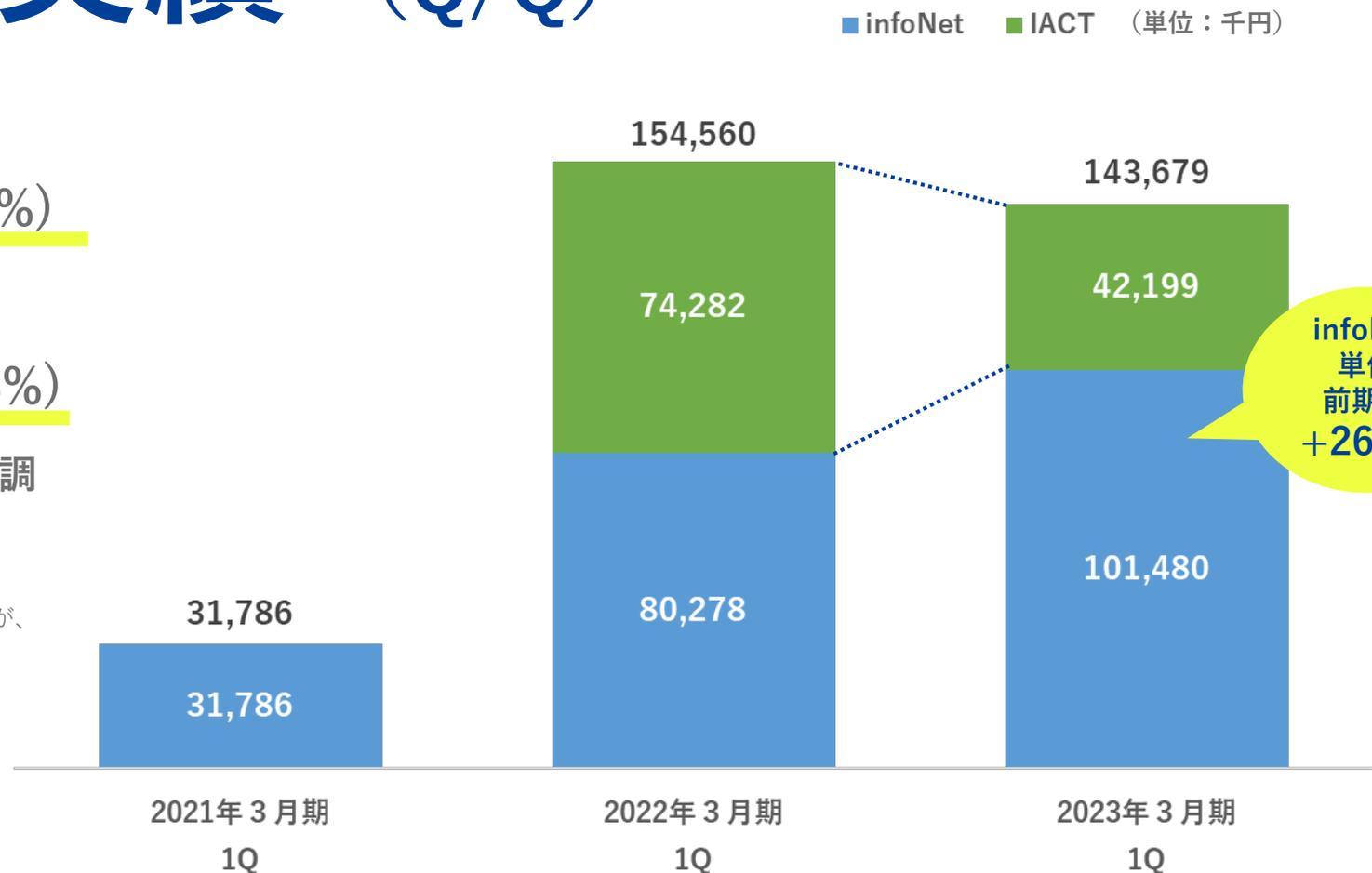
▲10,881千円の減少(前期比▲7.0%)

infoNet単体

+21,202千円の増加(前期比+26.4%)

infoNetについてはフロー収益の増加が堅調

※2021年3月期までは納品検収基準の会計方針を採用していましたが、2022年3月期より進行基準に変更しております。
※2021年3月期以前のアイアクトの実績は連結対象期間外であるため開示は差し控させていただきます。
※2021年3月期のinfoNet実績にはスプレッドシステムズの実績を含みます。(2022年3月期より吸収合併)



AI

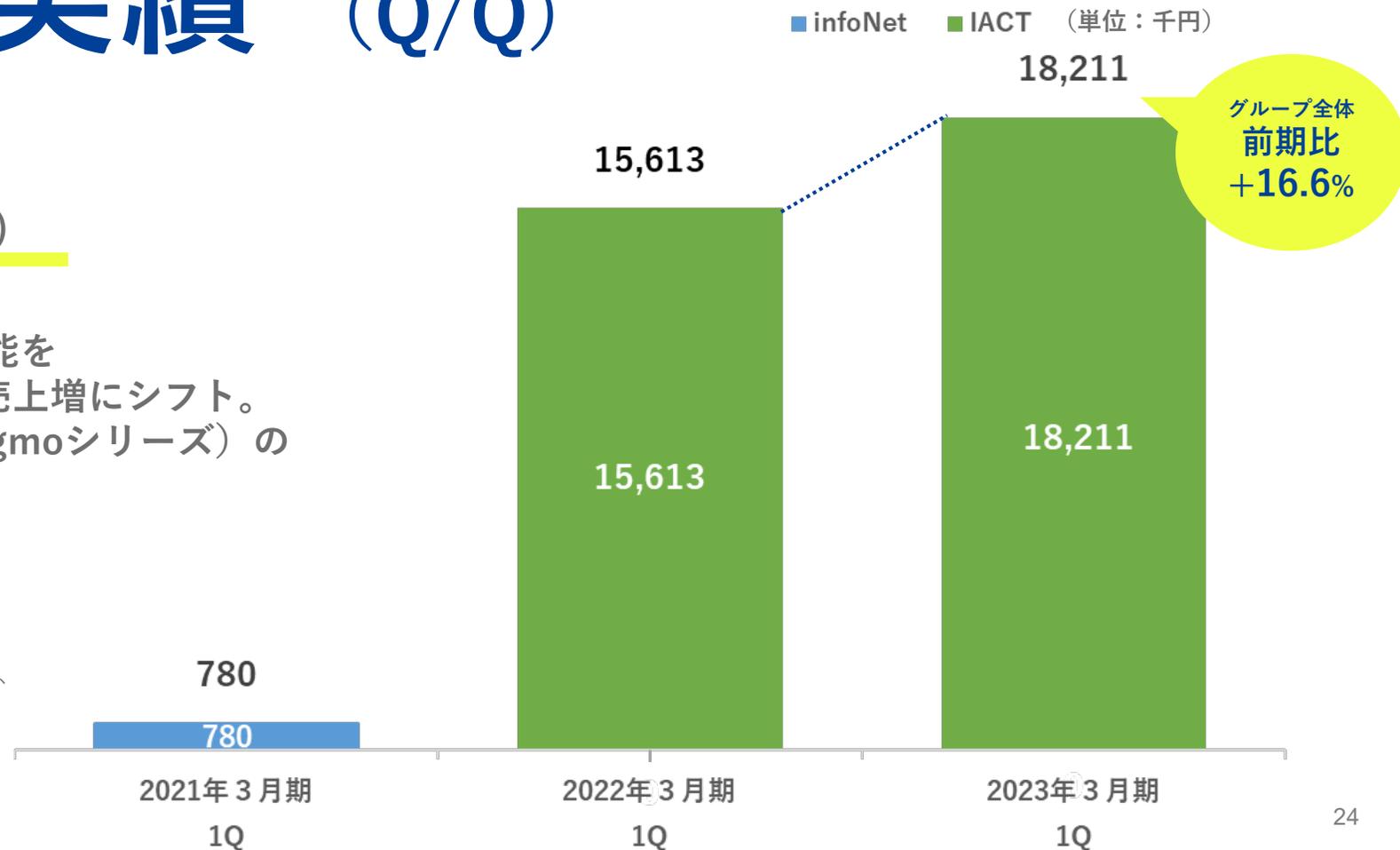
フロー収益実績 (Q/Q)

(受託開発)

グループ全体
+2,598千円の増加(前期比+16.6%)

infoNetについてはAIチャットボットの機能をCMSオプションに組み込みWEB/CMSの売上増にシフト。アイアクトは強みであるAIプロダクト(Cogmoシリーズ)の受託開発売上が堅調に推移。

※2021年3月期までは納品検収基準の会計方針を採用していましたが、2022年3月期より進行基準に変更しております。
※2021年3月期以前のアイアクトの実績は連結対象期間外であるため開示は差し控えさせていただきます。



WEB/CMS

ストック収益実績 (Q/Q)

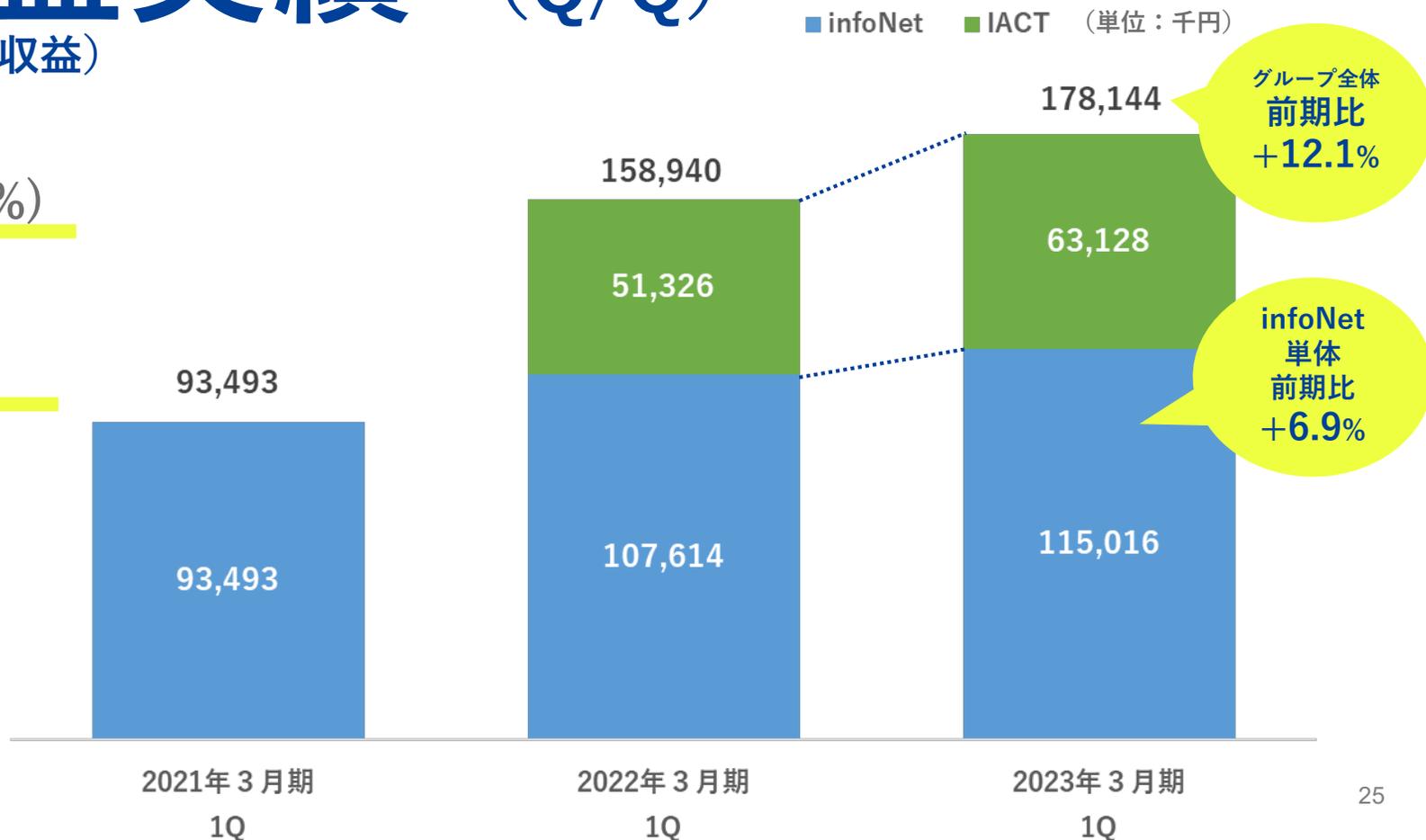
(月額収益)

グループ全体
+19,204千円の増加(前期比+12.1%)

infoNet単体
+7,403千円の増加(前期比+6.9%)

infoNet、アイアクトとも堅調に推移。

※2021年3月期以前のアイアクトの実績は連結対象期間外であるため開示は差し控えさせていただきます。
※2021年3月期のinfoNet実績にはスプレッドシステムズの実績を含みます。(2022年3月期より吸収合併)



AI

ストック収益実績 (Q/Q)

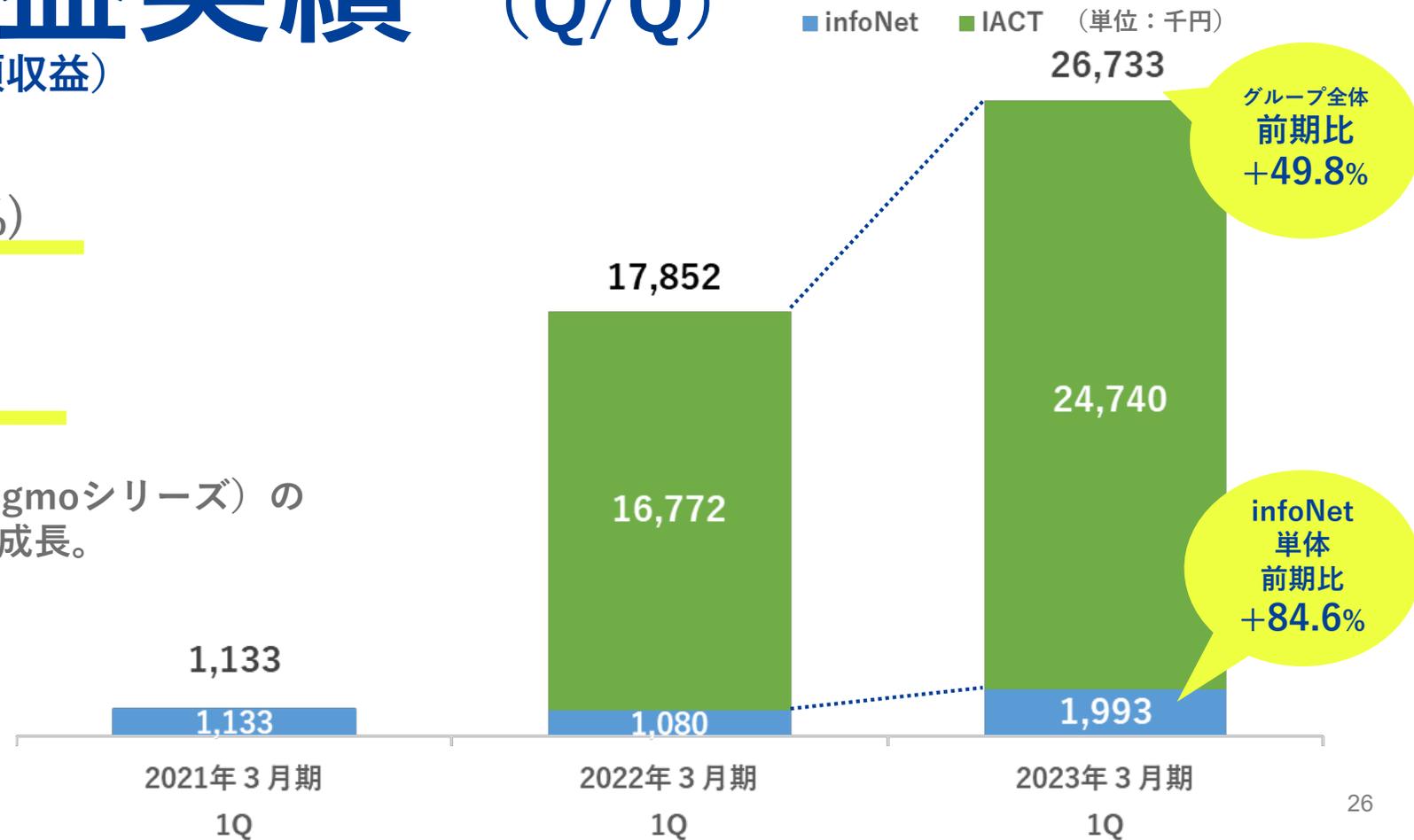
(月額収益)

グループ全体
+8,882千円の増加(前期比+49.8%)

infoNet単体
+914千円の増加(前期比+84.6%)

アイアクトの強みであるAIプロダクト(Cogmoシリーズ)の売上実績によりグループ全体では+49.8%成長。

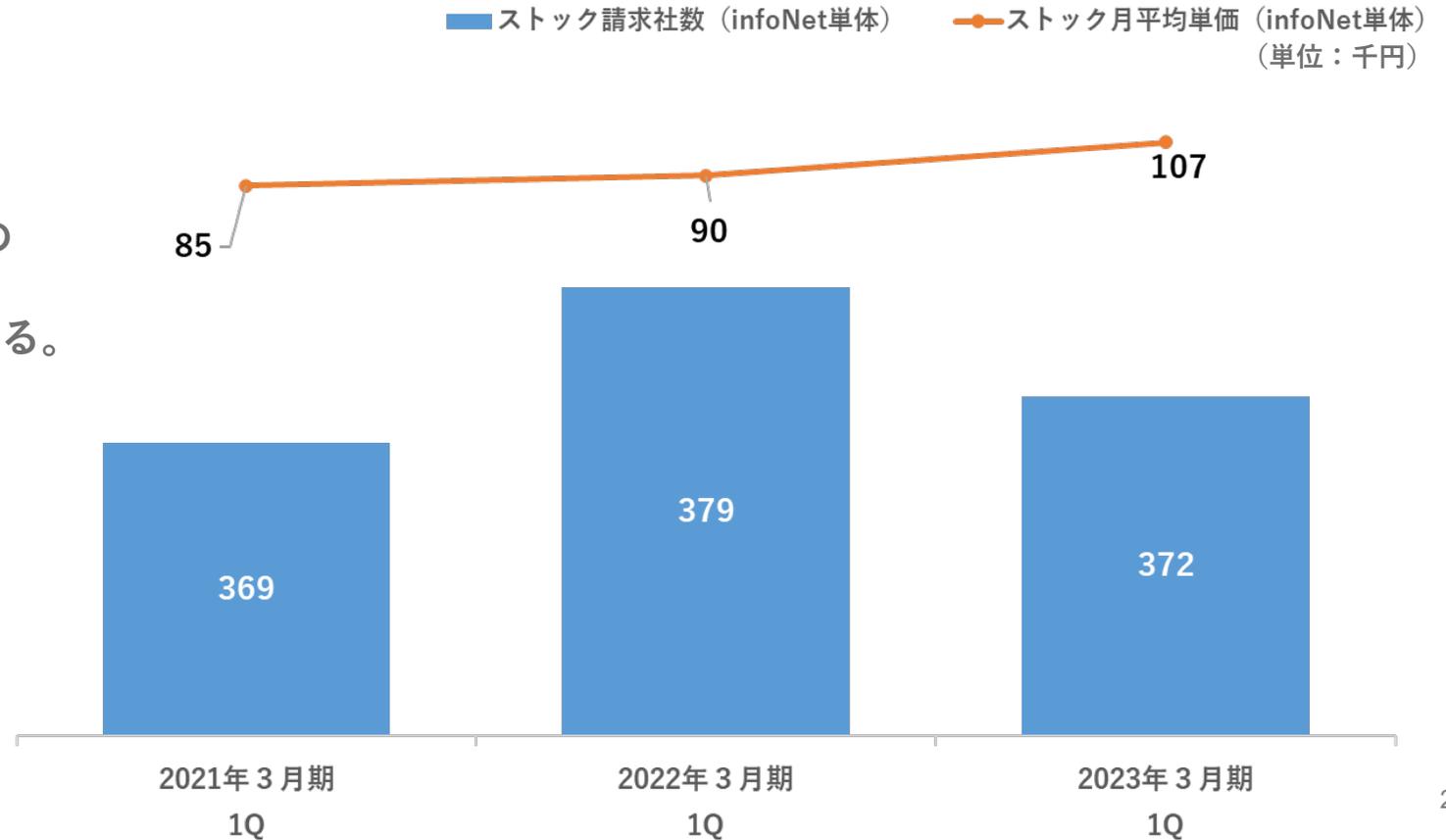
※2021年3月期以前のアイアクトの実績は連結対象期間外であるため開示は差し控えさせていただきます。



ストック収益請求社数推移 (Q/Q) (月額収益)

前期に対し▲7社の減少
月平均単価前期比+19.4%

昨期受注し受託開発を行った案件が今期1Qのストック収益に繋がるが、昨期は一部受注を制限したことが影響し、前期に対し減少となる。



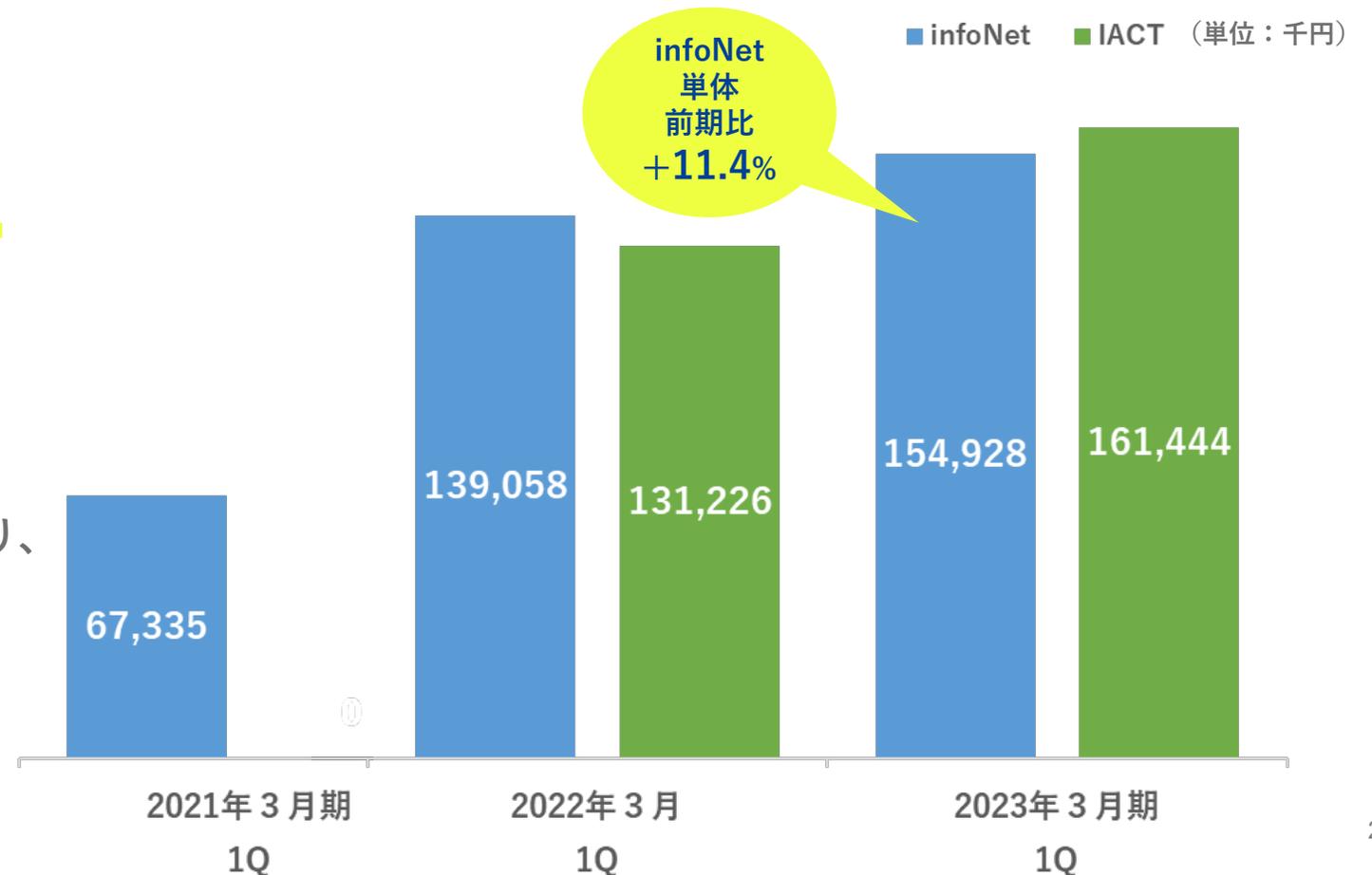
受託開発受注高実績 (Q/Q)

infoNet単体
+15,871千円の増加(前期比+11.4%)

※アイアクトの受託開発受注高には運用保守の受注高が含まれるため参考値

infoNetは昨期後半は赤字案件の終息にリソースを充てるため受注活動を一部制限していたが、赤字案件は昨期中に終息しており、今期は1Qから受注が順調に推移。

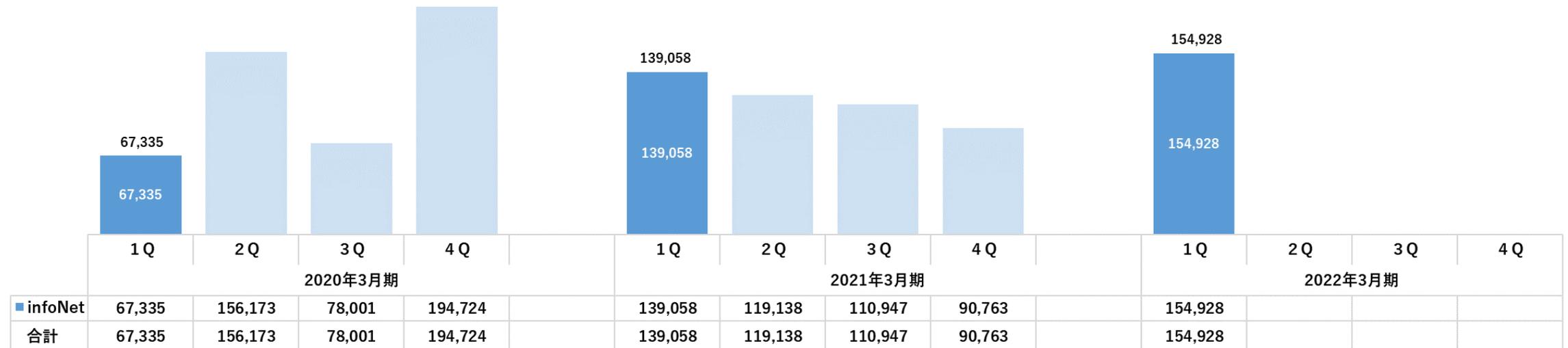
※2021年3月期以前のアイアクトの実績は連結対象期間外であるため開示は差し控えてさせていただきます。



受託開発受注高推移 (infoNet)

昨期は下期にかけて受注活動を一部制限したが、受注/開発体制の見直しは昨年度中に完了。
 今期は第1四半期より受注が堅調で受託開発受注高が大幅増加。

(単位：千円)



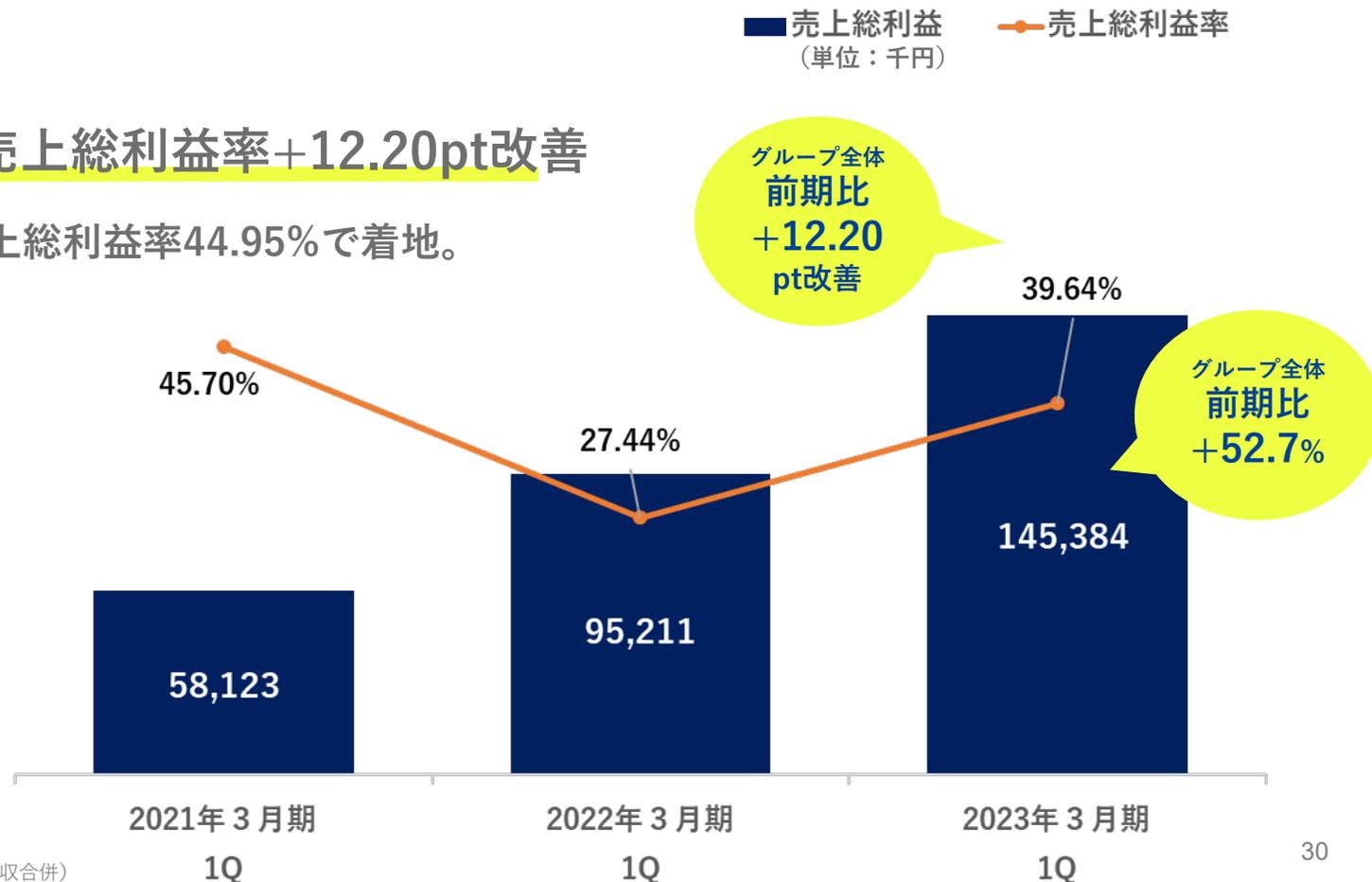
売上総利益実績 (Q/Q)

グループ全体

+50,173千円の増加(前期比+52.7%) 売上総利益率+12.20pt改善

infoNetは受注/開発体制の見直しにより1Qは売上総利益率44.95%で着地。

(単位：千円)	infoNet	IACT	デロフト	連結 仕訳	合計
①売上総利益	98,356	44,290	-	2,737	145,384
売上 総利益率	44.95%	30.49%	-	-	39.64%
②<参考> 前期 売上総利益	46,231	48,980	-	-	95,211
増減①-②	+52,125	▲4,690	-	-	+50,173

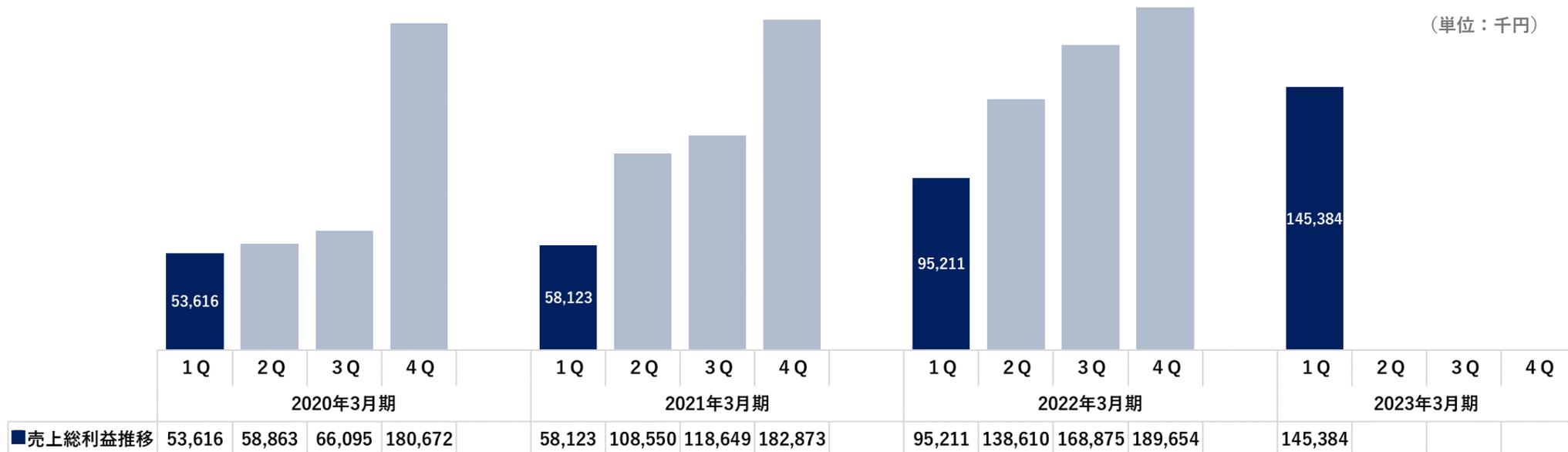


※2022年3月期以降は子会社の業績を含む連結業績です。
 ※2021年3月期までは納品検収基準の会計方針を採用していましたが、
 2022年3月期より進行基準に変更しております。
 ※2021年3月期のinfoNet実績にはスプレッドシステムズの実績を含みます。(2022年3月期より吸収合併)

売上総利益推移

売上高同様、今期においても下期偏重傾向は継続する見通し
 第1四半期においては売上総利益率の回復により売上総利益額は大幅増加（Q/Q）

（単位：千円）



※2021年3月期までは納品検収基準の会計方針を採用していましたが、2022年3月期より進行基準に変更しております。

※2022年3月期以降は子会社の業績を含む連結業績です。

※2021年3月期のinfoNet実績にはスプレッドシステムズの実績を含みます。（2022年3月期より吸収合併）

営業損益実績 (Q/Q)

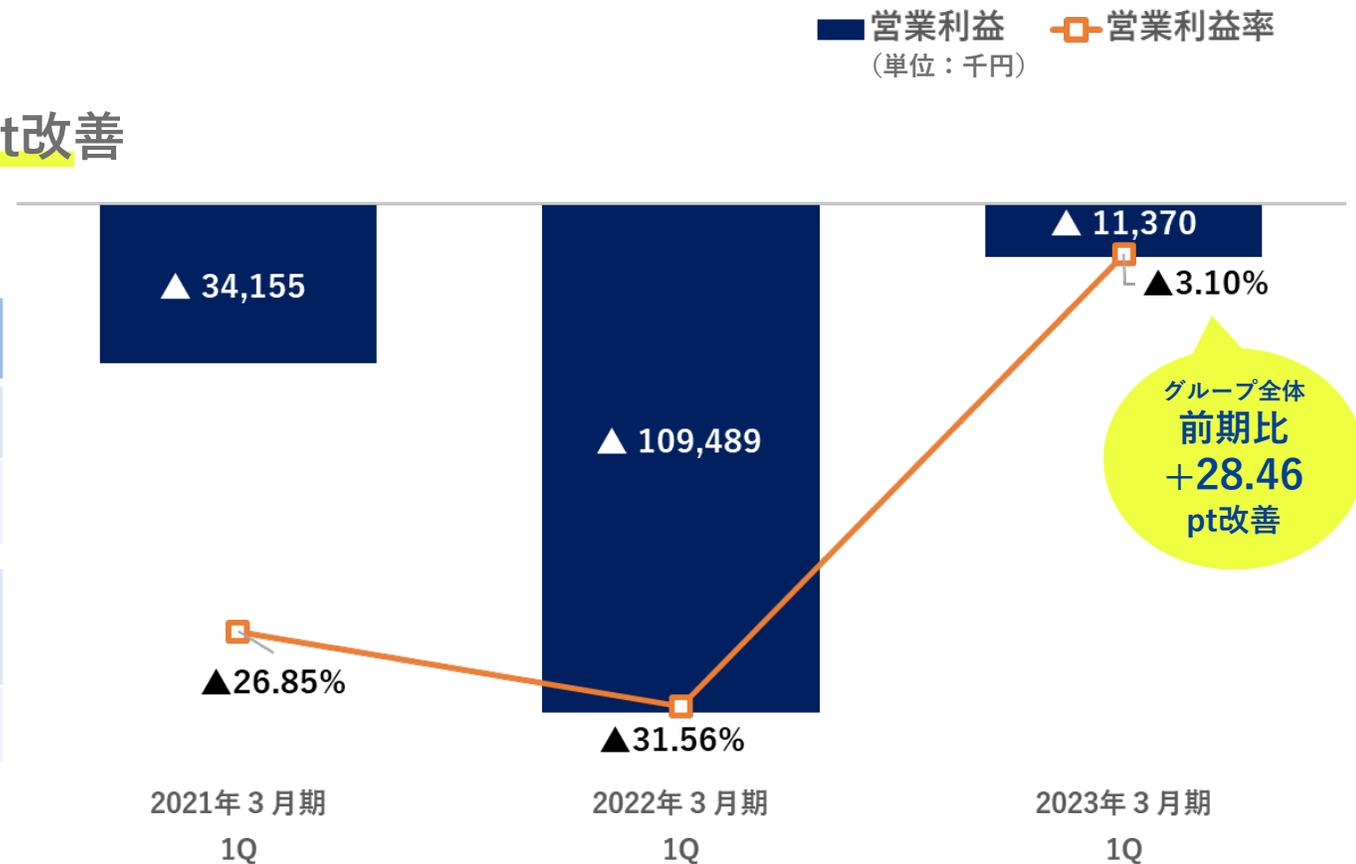
グループ全体

+98,119千円の増加 営業利益率+28.46pt改善

売上総利益の改善により営業利益率も大幅改善。

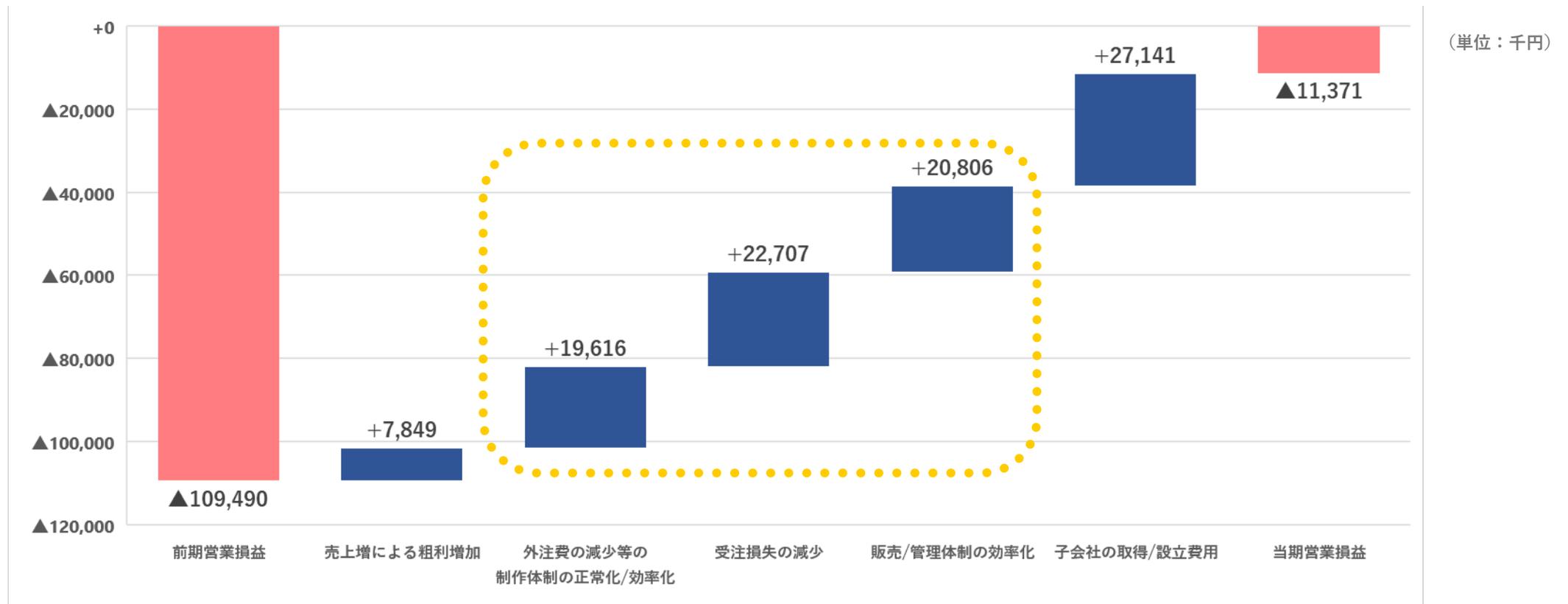
(単位：千円)	infoNet	IACT	デロフト	連結仕訳	合計
①営業利益	363	7,598	▲9,361	▲9,970	▲11,370
営業利益率	0.17%	5.23%	-	-	▲3.10%
②<参考>前期営業利益	▲77,314	14,907	-	▲47,083	▲109,489
増減①-②	+77,677	▲7,309	-	-	+98,119

※2022年3月期以降は子会社の業績を含む連結業績です。
 ※2021年3月期までは納品検収基準の会計方針を採用していましたが、2022年3月期より進行基準に変更しております。
 ※2021年3月期のinfoNet実績にはスプレッドシステムズの実績を含みます。(2022年3月期より吸収合併)



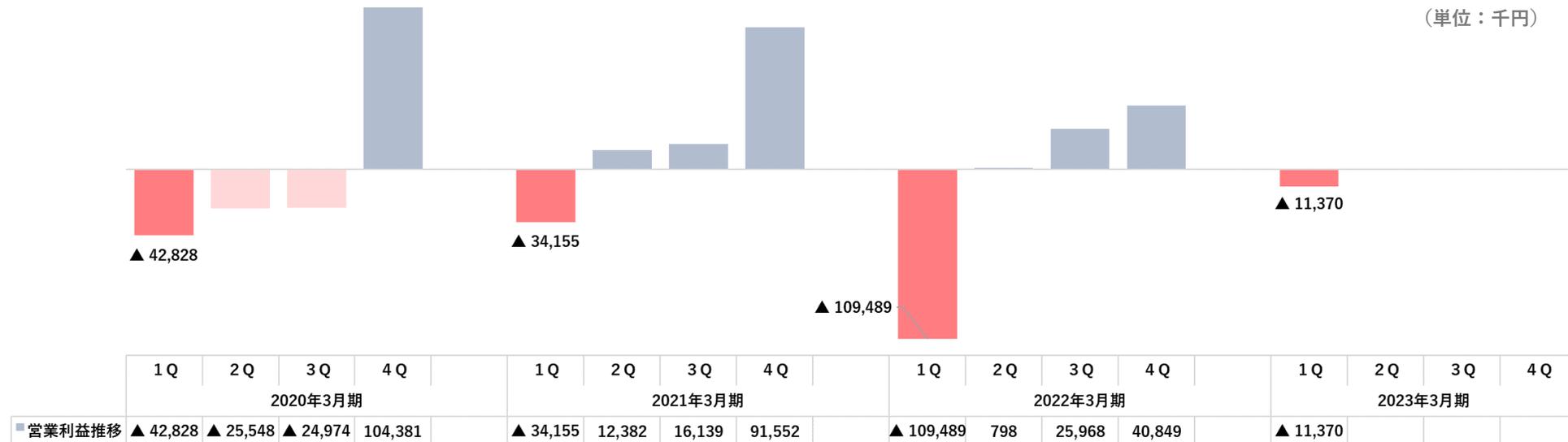
営業損益の増減内訳 (Q/Q)

M&A等の特殊支出の減少及び売上高増加による売上総利益の増加に加え、受注・開発体制の見直しによる外注費・受注損失の減少、販管/管理体制の効率化等を実施したことにより+98,119千円の大幅改善



営業損益推移

売上高同様、今期においても下期偏重傾向は継続する見通し。
 第1四半期においては売上総利益の大幅増加及びM&A等の特有コストは発生しなかったことから営業損益についても大幅改善 (Q/Q)



※2021年3月期までは納品検収基準の会計方針を採用していましたが、2022年3月期より進行基準に変更しております。

※2022年3月期以降は子会社の業績を含む連結業績です。

※2021年3月期のinfoNet実績にはスプレッドシステムズの実績を含みます。(2022年3月期より吸収合併)

4. SUMMARY

サマリー

4. SUMMARY

PL増減比較

※2022年3月期1Q、2023年3月期1Q
は子会社の業績を含む連結業績です。

infoNet®

(千円)	①2021年3月期 1Q	②2022年3月期 1Q	③2023年3月期 1Q	増減額 ③ - ②
売上高	127,193	346,967	366,769	+19,802
WEB/CMS関連事業	125,280	313,501	321,824	+8,323
AI関連事業	1,913	33,465	44,945	+11,480
売上総利益	58,123	95,211	145,384	+50,173
売上総利益率	45.70%	27.44%	39.64%	+12.20pt
営業損益	▲34,155	▲109,489	▲11,370	+98,119
営業損益率	▲26.85%	▲31.56%	▲3.10%	+28.46pt
経常損益	▲34,270	▲124,950	▲12,440	+112,510
経常損益率	▲26.94%	▲36.01%	▲3.39%	+32.62pt
当期純損益	▲25,322	▲102,237	▲23,448	+78,789
当期純損益率	▲19.91%	▲29.47%	▲6.39%	+23.08pt

※2021年3月期までは納品検収基準の会計方針を採用していましたが、2022年3月期より進行基準に変更しております。

※WEB/CMS関連事業売上高とAI関連事業売上高の合計に誤差が出ている場合がありますが、それぞれの数値を千円未満切り捨てとしているためです。

4. SUMMARY

BS増減比較

※2022年3月期1Q、2023年3月期1Q
は子会社の業績を含む連結業績です。

infoNet®

(千円)	①2022年3月期 1Q	②2023年3月期 1Q	増減額 ② - ①
流動資産	1,078,719	941,748	▲136,971
固定資産	654,694	619,771	▲34,923
資産合計	1,733,414	1,561,520	▲171,894
流動負債	443,401	376,909	▲66,492
固定負債	493,836	381,634	▲112,202
負債合計	937,237	758,544	▲178,693
資本金	265,911	274,920	+9,009
資本剰余金	245,911	254,920	+9,009
利益剰余金	284,353	273,134	▲11,219
純資産合計	796,176	802,976	+6,800
負債・純資産合計	1,733,414	1,561,520	▲171,894

※合計に誤差が出ている場合がありますが、それぞれの数値を千円未満切り捨てとしているためです。

免責事項

本資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、当社の有価証券の売買の勧誘を構成するものではありません。本資料に含まれる将来予測に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。将来予測に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報、成長余力及び財務指標並びに予測数値が含まれます。将来予測に関する記述は、あくまでも当該記述がされた時点におけるものであり、将来変更される可能性があります。将来予測に関する記述によって表示又は示唆される将来の業績や実績は、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要因により、実際の業績や実績は当該記述によって表示又は示唆されるものから大きく乖離する可能性があります。

当社は、財務上の予想値の達成可能性について明示的にも黙示的にも何ら保証するものではありません。

また、当社は、本資料の日付以降の事象及び状況の変動があった場合にも、本資料の記述を更新又は改訂する予定はありません。

本資料には、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない、過去の財務諸表又は計算書類に基づく財務情報及び財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれています。

本資料には、当社の競争環境、業界のトレンドや一般的な経済動向に関する統計情報及び調査結果、外部情報に由来する他社の情報が含まれています。当社は、これらの情報に由来する情報の正確性及び合理性について独自の検証を行っておらず、いかなる当該情報についてもその正確性及び合理性を保証するものではありません。また、他社に係る事業又は財務に関する指標は、算定方法や基準時点の違いその他の理由により、当社に係る同様の指標と比較対照性が無い可能性があります。